

Hyogo大好き!

9号
2020年
夏号

兵庫県議会議員

相崎 佐和子

県政活動ニュース

topics

～新型コロナウイルス感染症～

- ▶ ご質問にお答えします
- ▶ 善意のマスクに感動!
- ▶ 保護者有志によるアンケートがすごい!
- ▶ 阪神北地域づくり懇話会に参加
- ▶ 健康福祉常任委員会に所属
- 「第28回 サワコの茶話会」やります



～命を守り 生活を支える～

■感染は再び増加傾向に

兵庫県では、3月1日に県内初の新型コロナウイルスの感染が確認され、4月11日にはピーク(1日の感染確認が42人)に達しました。その後、5月17日から6月18日までの33日間、新規の感染確認ゼロが続きましたが、6月19日以降は再び感染を確認する日が続き、7月26日には一日の感染確認が県内最多の49人となりました。

兵庫県は「フェーズ(段階)に応じた体制」を定め、感染者数によって5段階の体制を組んでいますが、7月23日には第3段階の「感染増加期」に入っていました。

これまで感染によってお亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表するとともに、感染して闘病されている方々の一日も早いご回復を祈念しています。また、最前線で尽力くださった医療従事者はじめコロナウイルス感染症対策に携わってくださっている多くの方々に、心より感謝と敬意を表します。

■県議会議員は何をすべきか

兵庫県として、まずは迅速で的確な感染防止に全力を尽くさねばなりません。これまでにトータル5542億円の補正予算を編成して対策に当たっています。真に私たちが必要とする施策を出来る限り迅速に取り組んでいますが、中には「もっとこうした方がいい」というご

意見もあるでしょう。そんな中で県議会議員の役割は、皆さんからの声をしっかりお聞きし、改善すべき施策には力強く声を上げることだと捉えています。

学校再開の時期の延長、休業補償の拡充、コロナ感染症対応関連従事者への慰労金の拡充など、いくつかは県議会が声を上げて実現できたものもあり、これからも改善に取り組む決意です。また、対策を具体化するのはもちろん、県民の皆様のお気持ちに寄り添い、ご不安やお悩みに対して少しでも安心感を抱いていただけるよう尽力することも必要だと実感しています。今こそ議員が心と力を尽くさねばなりません。

■これからは、感染拡大の防止&生活と経済の立て直し

コロナウイルスの拡大により、私たちの生活は多大なる影響を受けました。活動やイベントは中止になり、外出自粛が求められました。学校園は休業になり、約3ヶ月こどもたちは学校園に行くことが出来ませんでした。店舗や事業所は休業要請などを受け、事業継続が困難なレベルの大きな打撃を受けました。胸が痛くなる悲痛なお声を多くお聞きし、なんとか対策をと動いておりますが、影響は、今もそしてこれからも続くでしょう。徹底的に感染拡大を防止し、そして崩壊した生活と経済を立て直します。

皆様におかれては、本当にくれぐれもご自愛ください。皆様の命を守り生活を支えるため、全力で取り組んでまいります。

～ご質問にお答えします～

県政

Q: 兵庫県はちゃんとコロナ対策をしているのか？

コロナウイルス対策において、都道府県がイニシアティブをとって対策をすべきことが多くあります。ゆえに兵庫県に対するご要望やご意見を多く頂戴しますし、**今こそ兵庫県が力を尽くすべき時**だと思っています。

(財政)

兵庫県は、**これまでにトータル5542億円の補正予算を編成して対策を講じています**。財源は、地方自治体では建設関係以外の赤字地方債を発行できないため(地方財政法5条)ことから、主に国の臨時交付金や支援交付金を活用しています。

実は今年度予算において、大型プロジェクト(新庁舎建設、2万人収容の大規模アリーナの新設、但馬空港の滑走路延長など)の話が上がっていました。厳しい財政状況であることを指摘し、**大型プロジェクトは慎重に検討するよう提言していましたが、コロナ感染拡大で本当に大型プロジェクトどころではなくなっています**。6月議会で問うたところ、新庁舎建設は後ろ倒しに、他の大型プロジェクトは“計画通り進めるかの対象になる”との答弁でした。**コロナ対策に然るべき財政を投入するよう、声を上げていきます**。

(内容)

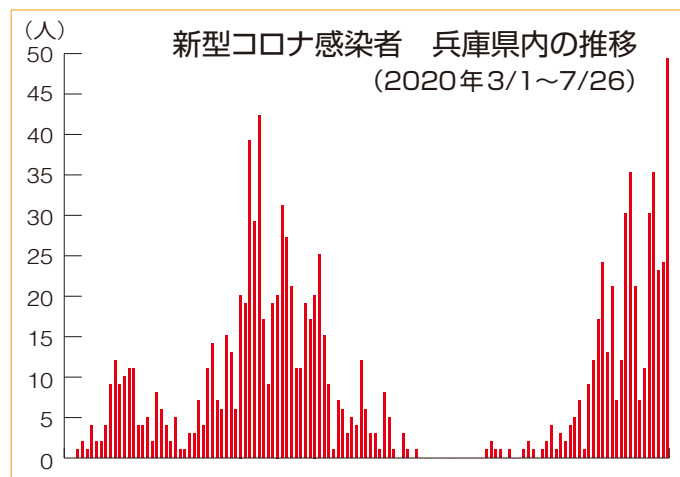
対策の内容は多岐にわたりますが、医療検査体制と感染拡大防止対策の強化に1351億円、地域経済活性化と地域の元気づくり4161億円、ポストコロナ社会を見据えた基盤づくりに30億円の補正予算を議決しています。県対応の特色として「公私立病院ネットワークの構築による病床確保」「他都道府県に先駆けた入院コーディネーターセンターの設置」「陽性者の入院治療(自宅療養なし)」「医療資器材の長期備蓄」「再警戒基準の数値化」などが挙げられます。必要な施策を実施しているつもりでございますが、中には改善がベターとのご意見をいただく施策もあります。

これまで、**学校再開の時期、休業補償、コロナ感染症対応関連従事者への慰労金などは、県民の声が届いて改善に至りました**。的確で迅速な施策を講じたいと思っており、そのためには皆様のお声が必要です。ぜひお声をお聞かせください。私たちの声を上げたいです。また、施策を具体化するのはもちろん、皆様のお気持ちに寄り添うことも大切だと実感しています。**心を尽くし、誠意をもって真摯に向き合っていく決意です**。

医療

Q: 再び感染が広がっているが、体制は整備できているのか？

5月17日から33日間、兵庫県内では感染確認ゼロが続きました。収束の期待を感じたのも束の間、6月19日に再び感染が確認され、7月下旬現在は4月頃のピークを超える感染が確認されています。「医療検査体制は大丈夫か？」とのご心配はごもっともであり、多くいただくお声であります。



まず医療体制について、**兵庫県では再警戒基準を数値化して「フェーズ(段階)に応じた体制」を定めています**。これは感染者数によって5段階にわけて、各段階での体制を詳細に定めたものです。マスクミなどでは大阪府の“大阪モデル”がよく取り上げられていますが、兵庫県でも独自基準を定めて取り組んでいます。

フェーズに応じた体制

出典：兵庫県記者発表資料

区分	感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期1	感染拡大期2
目安 新規陽性 患者数 (一週間平均)	10人未満	10人以上 (警戒基準)	20人以上	30人以上	40人以上
病床数	200床 うち重症40床	300床 うち重症50床	400床 うち重症70床	500床 うち重症90床	650床 うち重症120床
宿泊療養	200室	200室	300室	500室	700室

7月23日には第3段階の「感染増加期」に入りましたが、ベッドや療養室の確保はもちろん、対応いただく医療従事者の方々を含め**医療体制は整備している状況**です。また**検査体制について、1日最大のPCR検査可能数をこれまでの650件から2500件に増加させました**。実際の最大検査件数は1224件(7月25日)なので一定充足できるかと捉えているところです。しかし予断は許しません。今後も感染状況に応じて十分に対応できるよう取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症について、様々なご意見やご要望をいただきありがとうございます。
多くいただいたご質問について、見解や回答を記載させていただきます。

学校

Q: 学校園において、学習や行事はどうなりますか？

コロナウイルスにより、学校園は年度がわりの大切な時期を含む約3ヶ月にわたり休業となりました。この期間、子どもたちも保護者も心身ともに大変な思いをしたものです。うちも中3と小5がおり、お気持ちや状況はよくわかります。

●学習の遅れはどのような？

ご心配はごもっともです。うちも長女が中3の受験生なのでソワソワします。兵庫県では「少人数学習集団の編成支援」「学習指導員の配置」「スクールサポートスタッフの配置」などを新たに導入して、学習サポートに取り組んでいます。一方で詰め込み学習による児童生徒の心身の疲弊のお声をいただいています。専門家も、まずは児童生徒の生活リズムの再構築やメンタル面のサポートを最優先に、と声を揃えました。教育委員会に対しては、児童生徒や教師に多大な負担がかからないよう配慮し、学習内容を遂行することを伝えています。

また、国のGIGAスクール構想にコロナ禍が後押しして、1人1台のタブレットが支給されます。ハード整備は段取りがつき、これからはソフト整備（タブレットをどう活用するか）が大事になります。現場は大変ですが、議会も後押ししながら新しい学習方法を推進していきます。

●行事などはどのような？

基本的には、感染防止を最優先としたうえで可能な限り実施したいと考えています。

令和2年度 伊丹市の公立小中学校の行事(方針)

中止・・・修学旅行・体育大会・音楽会・林間学校 など
縮小・・・自然学校(日帰り)・トライやるウィーク(1日のみ) など

修学旅行について、県内で現時点において中止と発表した市町はなく、多くが検討中です。神戸市は逆に「修学旅行はあり」との方針を出しました。もちろん感染防止は最優先です。ただ、多くの児童生徒が心から楽しみにしている修学旅行は、ギリギリまで行けるように検討をしたいし、その姿勢が大事です。教育委員会や現場の先生方も想いは持ってください。私たちも声を上げていければと思っています。

あと、一時多くのお声をいただいたのが、部活動の大会中止についてです。高校や中学の今年度の総体が全滅となりました。特に最後の大会に向けて部活動を頑張っていた最終学年の子たちが涙しており、胸が締め付けられます。これについては、十分ではありませんが代替大会を開催してまいります。

この期間を通して改めて「声を上げれば変わることもある」と実感しました。行政も試行錯誤の中、私たちの声を求めています。ですので、あきらめずにご意見をいただきたいです。必ずや県政に届けます。

経営

Q: 事業所や店舗の経営が逼迫しているが支援は？

コロナウイルスの影響を受けて、多くの事業所や店舗の経営が逼迫していると、悲痛なお声を多く伺います。残念なことに、事業を縮小したりお店を畳んだりとの事例も見聞きし、胸が痛むばかりです。

国では「持続化給付金」「雇用調整助成金」「家賃支援給付金」など、伊丹市では「事業所等賃料補助金」など、そして兵庫県では、以下の支援策を設けています。何とかご活用いただければと願っています。

兵庫県の経済・雇用対策

●中小企業資金繰り支援

新型コロナウイルス対策貸付

新型コロナウイルス危機対応貸付

経営活性化資金

借換等貸付

新型コロナウイルス感染症対応資金
(無利子無保証料)

新型コロナウイルス感染症保証料応援貸付

●休業要請事業者経営継続支援金

●がんばるお店お宿応援事業

●中小企業事業再開支援(新)

事業所や店舗の支援として、「休業と補償はセット」と考えています。行政が休業を要請するなら、補償もセットで実施しなければなりません。また、支援は「的確・迅速・簡素」が重要です。何にお困りかを把握した上での的確な支援、一刻を争うことゆえの迅速な支援、手続きが煩雑とお声を反省しての手続きが簡素な支援。これらを念頭に、引き続き経営の支援に取り組んでまいります。

相談窓口

経営全般／ひょうご神戸経営相談センター
(078)977-9079

県の融資等／兵庫県産業労働部 地域金融室
(078)362-3321

※これらの記載は7月27日現在のものです。
日々状況が変化する中で、お手元に渡った時は少し前の情報になっている可能性がございます。申し訳ない限りですが、情報の鮮度に配慮しながらお届けすべき内容を熟考したつもりでございます。ご容赦いただければ幸甚です。

●善意のマスクに感動!

コロナウイルスの蔓延で一時マスクが入手困難になり「それなら手作りしよう!」と布マスクを作る方が増えました。そんな手作りマスク、素敵だと思った話をいくつか。

○放課後デイへの寄贈

知り合いの男性から「母が布マスクをたくさん作った。娘がかつて放課後児童デイサービスにお世話になったので恩返ししたい」とお話しをいただきました。

※放課後児童デイサービス：障がいのあるお子さんや発達に特性のあるお子さんが授業終了後や長期休暇中に通うことのできる施設



ご縁の流れで、市担当課を通して放課後デイに寄贈させてもらいましたが、担当職員さんもデイの方も大変喜ばれていました。福祉施設の方々はコロナ禍の中で尽力くださっています。感謝の気持ちが手作りマスクで伝わったのだらうと、こちらも心が温まりました。

○6年生から下級生へのプレゼント

小学5年生の次女が通う市内の小学校では、6年生が家庭科の授業でマスクを手作りして、下級生にプレゼントしてくれました。とても上手に作られており感心。次女も喜んでいました。素敵なマスクをプレゼントしてくれた6年生、絆な取り組みをしてくれた学校に感謝です。



マスクについて、兵庫県では医療関係用のマスクは確保できております。また県では普段の生活上でのマスク着用を呼びかけております。暑さには十分ご注意くださいながらマスクをご活用いただければ幸いです。

●保護者有志によるアンケートがすごい!

保護者有志で集まる「伊丹市の子ども未来を考える会」が、4月下旬～5月上旬に市内の保護者を主な対象として、コロナに伴う休校・休園に関するアンケートを実施し、5月13日に伊丹市長および教育長へ報告書と要望書を提出されました。

このアンケート、3つの点ですぐいと感じました。

- ①アンケートの実施：保護者有志でアンケートを実施されたことが素晴らしい。企画力と実行力に敬意を表します。
- ②回答数：748人も保護者が回答されたそう。市主催の市民アンケートにも匹敵する数で、アンケートの有効性と説得力を裏付けています。
- ③報告書のクオリティ：報告書がハイレベル。データは今後の教育に大いに役立ちますし、自由回答欄はリアルな声が浮き彫りになっています。

報告書はホームページでご確認できるそうです。伊丹市はもちろん、兵庫県でもアンケート結果を活用させていただき、教育の充実に取り組んでまいります。

県政報告

■阪神北地域づくり懇話会に参加

7月7日「阪神北地域づくり懇話会」に参加しました。

これは地域（阪神北エリアの市長・町長&議長）と兵庫県（知事）の意見交換の場で、地元選出の県議会議員も参加します。私からは、疲弊している医療現場や福祉現場の支援・高校入試の方針の迅速な決定を要望しました。

実は伊丹市議会議長の時にも参加していましたが、その時の要望事項（阪神北エリアの医療充実・日本酒を核とした広域観光の支援など）は進んでいます。

実際に物事が動くことも多い貴重な場です。これからも力強く発言します。

■健康福祉常任委員会に所属

兵庫県議会には7つの常任委員会（専門チーム）があります。

今年度、相崎は健康福祉常任委員会に所属しました。コロナ対策の最前線で力を尽くしたいとの想いで、コロナ担当の委員会を選んだ次第です。

尽力しますので、どうぞお声をお聞かせくださいませ。

第28回 サワコの茶話会

▲お気軽におこしく下さい!

- 日時：2020年9月6日（日） 14:00～16:00
- 場所：東りいたみホール 3階 大会議室
- 申込：お名前&連絡先をメール・電話・ファックスなどで（連絡先は下記）

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期させていただく可能性があります。

～Profile～

- 1973年3月生
- 親和女子高校 ●奈良教育大学 ●〃大学院（政治学ゼミ）
- ORIXブルーウエーブ マスコットガール
- 地元ケーブルテレビ（現：ペイコム）アナウンサー
- 第12代兵庫県広報専門員
- 伊丹市議会議員（3期） ●第61代 伊丹市議会議長
- 阪神市議会議長会 会長
- 兵庫県議会議員（1期目）
- ローカルマニフェスト推進連盟 共同代表
- 出産議員ネットワーク 関西代表
- 第11回マニフェスト大賞優秀賞 受賞
- 小学校・中学校（社会）・高校（地理歴史）教員免許
- 家族：夫・長女（中3）・次女（小5）

情報はここから

- ★ホームページ▶<http://sawako-aizaki.com>
- ★ブログ▶<https://sawako-aizaki.hatenablog.com/>
- ★Facebook▶
<https://ja-jp.facebook.com/sawako.aizaki>
- ★ツイッター ★インスタグラム

活動ニュース

バックナンバーは上記HPに。郵送希望はご連絡を

連絡先

発行元：相崎佐和子
伊丹市西台2-5-11 松屋ビル2階
電話▶(072) 768-9260
FAX▶(072) 768-9261
メール▶sawako.aizaki@gmail.com